

## 平成 年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	まちづくり塾の開催と賑わい創出事業
事業主体 (連絡先)	高遠コンサベーションプロジェクト (伊那市高遠町西高遠1664-1ギャラリーみなと屋内)
事業区分	(1) 地域協働の推進に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	397,872 円 (うち支援金: 316,000円)

### 事業内容

#### ①まちづくり塾の開催

- ・全5回の塾を開催した。地元で活動している方々を講師に、取組内容、今後の構想、取組の視点などについて話題提供いただき、意見交換、アドバイス等を行った。
- ・リノベーションまちづくりへの地域住民の意識を醸成し、空き家物件の情報提供を促すチラシを作成した。

#### ②賑わい創出事業

- ・燈籠祭の情緒性を盛り上げるために、提灯を購入し、来訪者に貸し出した。
- ・建福寺の石仏群をライトアップし、光の当て方、色による違い等の効果的なライトアップ方法を、パナソニックリビングショールーム長野の社員とともに検証した。



【まちづくり塾の様子】

### 【目標・ねらい】

- ①人材の発掘と育成
- ②事業・活動創業者へのサポート
- ③高遠の魅力のブラッシュアップ
- ④高遠の資源と外部資源のマッチング

### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

#### ①人材の発掘と育成

まちづくり塾への固定的な参加者が増え、関心が高いコアな人材発掘ができた。育成の効果については質的、量的把握ができておらず、今後効果測定の方法論の検討が求められる。

#### ②事業・活動創業者へのサポート

2名の開業相談者が出現し、アドバイスや情報提供を行うことができた。地域住民へ当会の活動が浸透しつつあることがうかがえた。

#### ③高遠の魅力のブラッシュアップ

燈籠祭との連携事業を行った。魅力向上の手掛かりをつかむことができた。

#### ④高遠の資源と外部資源のマッチング

本年は、外部のカウンターパートナーとの意識の違いがあり、マッチングに至らなかった。

### ※自己評価【C】

#### 【理由】

計画通り事業が実施できず、PDCAを徹底すべきと考えるため

### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

空き家物件の把握、所有者への働きかけ、創業希望者とのマッチングを通じて、リノベーションまちづくりを目に見える形で提示していきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある